


## ご挨拶

農)おくたま農産  
代表理事組合長 小野 寺 勝 義



<発行人>  
農事組合法人 おくたま農産  
責任者 代表理事組合長 小野寺勝義  
連絡先 0191-56-2301  
E-mail okutama-nousan@tmt.ne.jp

すっかり暖かくなりました。田んぼに水が入り作業も順調に進んでいます。心配された水不足も一部を除き順調に進んでいます。過日開催された総会には参加いただきありがとうございます。様々なご意見をいただきました。今後の運営に活かしていきたいと考えます。

春作業の中でトラクターの故障が2台続けてありました。又、作業事故もありました。「備あれば憂いなし」です。機械整備や安全講習の大切さを感じた春でした。今後も気を抜かず取り組みたいと考えます。

部品や資材が中東情勢の混乱で滞っています。誰が解決してくれるか全くわかりませんが心配していてもしょうがないです。やれることから焦らずに進めて参ります。

## 4月19日(日)『第19回通常総会』開催 全議案、原案通り承認・決定されました。

総会では、多数のご質問や貴重なご意見を賜り、活発な意見交換がなされました。いただいたご意見については今後、理事会で検討し事業運営に反映して参ります。

組合員337名、総会成立数169名、出席数256名(本人出席29名、書面出席227名)

- ・出席者数と書面議決者数を合わせて組合員数の過半数を超えることから、定款第32条及び第36条に基づき総会は成立致しました。



出席した組合員の皆さん



組合長が挨拶



ご来賓の皆さん

### <総会議決結果>

議案第1号	令和7年度事業報告、貸借対照表、損益計算書の承認について	:承認(賛成253名、反対0名、無効3名)
議案第2号	令和8年度事業計画書並びに事業予算計画書の決定について	:決定(賛成253名、反対0名、無効3名)
議案第3号	令和8年度理事及び監事報酬に係る限度額の決定について	:決定(賛成253名、反対0名、無効3名)
議案第4号	預貯金の預け入れ先の決定について	:決定(賛成252名、反対1名、無効3名)
議案第5号	一時借入金に係る最高限度額の決定について	:決定(賛成252名、反対1名、無効3名)
議案第6号	役員を選任について	:下記のとおり選任されました。
付帯決議		:決定(賛成253名、反対0名、無効3名)

### <役員名簿及び分担>

代表理事組合長	小野寺 勝 義 (天ヶ森)	理事(水稻生産部)	金 野 弘 之 (花貫:新任)
第1理事副組合長	小 山 文 義 (天ヶ森)	理事(水稻生産部)	吉 田 尉 二 (三沢:新任)
理事(転作生産部)	畠 山 和 志 (宝 築)	代表監事	藤 野 和 代 (中日向)
理事(機械管理部)	佐 藤 秀 一 (町 下)	監事	小野寺 孝 夫 (三 沢)
理事(加工販売部)	金 野 信 子 (寺崎前)		

新しい体制(9名)が決まりました。2年間よろしくお願ひします。

### 【主な質疑事項(抜粋)】

- 貸借対照表において棚卸資産が増加したが、前年度と比較し大きく変わっている内容や成果について組合員が理解しやすいよう補足説明して欲しい。  
⇒棚卸資産増は道の駅むろねに供給しているお米の棚卸増である。加えて、収益内容や剰余金処分案など補足説明した。また、次年度以降は組合員の理解を得られるよう補足説明を検討すると回答した。
- 8年度から組合員へ飯米供給する計画となっているが配達への対応はどうするのか?  
⇒供給数量は2,000袋/30kgと見込んでいるが配達は今後具体的に検討すると回答した。尚、出来秋前に注文取りまとめする予定なので利用して欲しい旨述べた。
- スイートコーンの地方発送が減少したとあるが「とうもろこし祭り」の直売日にしか発送申込み出来ないと勘違いしている人が多いようなので、事前予約も可能であるとPRするなどして数量拡大に努めて欲しい。(意見)  
⇒意見を尊重し取り組んでいくと回答した。発送注文数と直売数でそれぞれ過不足が出ないようにバランスを取り対応します。
- WCS(ホムロップサイレージ)の面積が倍増しているが購入する畜産農家、販売先はきまっているのか?  
⇒利用の半分は前年度利用いただいた畜産農家に引き続き注文いただいている。残りは農業改良普及センターを通じ契約する予定としている旨回答した。
- 耕畜連携で飼料用米のワラを供給してもらっているが、飼料用米が減少し主食米が大幅増という作付け計画だが、ワラ供給は継続してもらえるのか?  
⇒交付金が減少することは確かであるが畜産農家へのワラ供給は主食米圃場も含め継続していきたいと回答した。

# 4月に入り、春作業が本格的に始まりました！！

農業機械の整備、圃場の補修作業や用排水路・ため池の点検、畔塗り作業や土壌改良剤散布など進めてきましたが4月に入り、いよいよ本格的に耕起・代掻き作業、種まき（直播栽培）や田植え作業（移植栽培）が始まりました。



オペレーターの皆さん、安全作業をお願いします。



作業前には安全講習会・図面での圃場を確認



耕起・代掻きに向けトラクターの準備 OK



代掻き作業も開始されました（写真はWCS圃場）



『桜と代掻き』 桜は散り始めですが・・・



ドローンによる種まき作業（WCS圃場）



市・県の皆さんが多数視察に来ました。



大豆圃場では耕起前の除草剤散布を実施



ドローンオペレーターの養成講習会開催



3名が取得、夏には活躍が見られます。



とうもろこし圃場ではマルチかけを実施

## 加工部だより

4月10日本年度の仕込み作業が終了  
熟成後、10月頃には皆さんにお届けできる  
予定です。お楽しみに！



加工部の皆さんご苦労様でした。

## 編集後記

もう種まき・田植え作業が始まりました。  
水不足や異常気象など心配な面はありますが  
水稲関係は5月下旬まで、その後大豆管理が  
6月中旬まで続きます。とうもろこしは  
8月の収穫作業まで続きます。安全作業で  
春作業が完了すること願っています。

PS 新しいカメラで種まきと田植えの写真撮りましたが  
データの取り方が分からなかったので次号で  
紹介します。 菅原

## お詫び

4月23日、農作業事故が発生しました。  
安全作業講習など開催し安全作業に留意  
しておりましたが残念ながら事故となりました。  
組合員の皆様にはご心配をおかけし申し訳  
ありませんでした。今後はこのような事  
無いように十分留意し作業対応致します。



- ・作業機が水路に転落
- ・作業員の怪我は打撲と裂傷で大事にいたらず幸いでした。